

令和5年度事業報告 文化財保護事業

(生涯学習課文化財保護担当)

No.	事業名	内 容
1	確認調査(試掘)等	市内全域で申請者の依頼に基づいて実施。 →令和5年度 確認調査28件(うち工事立会10件含む)
2	本発掘調査	確認調査に基づき発掘が必要な地点について随時実施。 →令和5年度2件 ・越之上遺跡第4次調査(集合住宅建設に伴う発掘調査) 令和5年4月17日～4月26日 ・午王山遺跡第17次調査(保存目的の範囲内容確認調査) 令和5年11月20日～令和6年1月18日
3	史跡午王山遺跡の保存・活用	『史跡午王山遺跡保存活用計画』に基づき各種事業を実施。
4	埋蔵文化財調査報告書作成	市教育委員会が行った発掘調査の報告書を作成。 和光市埋蔵文化財調査報告書第71集『埼玉県和光市市内遺跡発掘調査報告書27』 300部発行。
5	市指定文化財の指定について	【市内3基の富士塚】 下新倉氷川八幡神社富士塚・白子熊野神社富士塚・浅久保浅間神社富士塚、3基全てが令和5年9月21日和光市指定文化財に指定された。 【越後山遺跡出土種子圧痕土器】 答申が教育長に提出された。 【越後山遺跡出土ヒスイ大珠】 答申が教育長に提出された。
6	新倉ふるさと民家園管理運営	新倉ふるさと民家園の管理運営について、古民家愛好会と市協働指針に基づく管理運営委託。 【来園者数】 令和5年4月1日～令和6年3月31日： 10,115人 累計来園者：228,909人
7	和光市デジタルミュージアム管理運営	Web上の博物館「和光市歴史の玉手箱“れきたま”」の管理運営。 【閲覧数】 令和5年4月1日～令和6年3月31日： 15,044件 累 計：217,696件 『和光市史 平成版』を掲載。 『デジタルミュージアム紀要第9号』刊行。
8	展示会・講座等	<国史跡指定記念午王山遺跡展及び関連講座> ○展示会 令和5年10月5日(木)～10月29日(日) のべ5,418人来場 ○記念講演会 令和5年10月 7日(土) 188人参加 ○関連講座 令和5年10月22日(日) 45人参加 <その他、関係講座等> ○午王山遺跡関係：現場公開やラジオ等で4回。 ○和光市史・歴史関係：図書館や職員研修等で6回。
9	文化財パトロール	埋蔵文化財包蔵地内で埋蔵文化財発掘届を未届のまま土木工事等を行っていないかを随時パトロールした。 また、市指定文化財及び国指定史跡午王山遺跡の状況を確認するパトロールを適宜実施した。

令和 5 年度発掘調査概要

発掘調査は、確認調査に基づき発掘が必要な地点について随時実施している。
令和 5 年度は 2 回の発掘調査を行った。なお、うち 1 回は史跡午王山遺跡内で
行った保存目的の確認調査である。

・越之上遺跡第 4 次調査（集合住宅建設に伴う発掘調査）

期間：令和 5 年 4 月 17 日～4 月 26 日

遺構：縄文時代中期の土坑 1 基・古墳時代前期住居跡 1 軒

遺物：縄文時代土器・古墳時代土師器



・午王山遺跡第 17 次調査（保存目的の確認調査）

期間：令和 5 年 11 月 2 日～9 月 22 日

遺構：弥生時代環濠とみられる溝 2 条

遺物：弥生時代土器片



令和 5 年度

史跡 午王山遺跡保存活用計画 点検管理表（総括表）

分類	点検項目	点検内容	令和 5 年度自己点検結果
保存	○史跡の維持管理	史跡内は第 6 章の地区区分と取扱方針に沿って適切に維持管理されているか	このまま継続
	○追加指定と公有化	史跡の追加指定、公有地化は適切に推進されているか	
	○遺構・遺物の保存・管理	遺構・遺物は適切に保護されているか	
	○調査・研究の継続	午王山遺跡に関する調査・研究が継続して行われているか	
活用	○生涯学習の場での活用	生涯学習の場として活用されているか (講座やフィールドワークの開催など)	このまま継続
	○学校教育の場との連携	学校教育の場で活用しやすくする仕組みは適切か (活用しやすくするための工夫など)	
	○遺物の活用	展示するなど、遺物は活用できているか	
	○情報発信	情報発信は適切に行われているか	
	○周辺文化財と連携した活用	周辺文化財と連携した活用はできているか	
整備	○整備基本計画等の策定	基本整備計画等は策定されているか	このまま継続
	○整備の方法	整備は史跡の保護を前提として行われているか	
	○自然環境・景観への配慮	整備は自然環境や景観に配慮して行われているか	
	○ガイダンス施設の設置	ガイダンス施設は設置されているか	
	○段階的な整備	整備は住民生活に配慮して段階的に行われているか	
	○短期的な整備	ARやVRなどITを導入して短期的な整備を行っているか	
	○案内看板等の整備	案内看板等は適切に整備されているか	
	○見学環境の整備	見学環境は整備されているか	
運営・体制 の 整備	○保存・活用に関する管理体制	保存・活用の体制は適切か	このまま継続
	○国・県・市関連部局の連携	国・県・市関連部局と連携が図られているか	
	○様々な機関等との連携	学校や研究機関、研究者や周辺自治体など、様々な機関と連携が図られているか	
	○市民との連携・協働	市民の理解と協力を得て、午王山遺跡を支えている体制ができているか	

分類Ⅰ 保存

取組内容・状況	(1) 史跡の維持管理
	史跡地内管理地について適宜除草・防草を行った。
	(2) 追加指定と公有地化
	【公有地化】 新たに約1,082㎡の土地を公有地化した。
	(3) 遺構・遺物の保存・管理
	保存目的調査を実施した。確認された遺構については、山砂によって埋めもどす保存措置をとった。 出土遺物は適切に保存・管理している。
	(4) 調査・研究の継続
	保存目的の確認調査を実施した。調査については「午王山遺跡調査指導委員会」の指導・助言を受けながら行った。

参考数値	取組内容	目標値	現状値 (計画策定時)	実績値(累計)				
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	指定地面積	約26,000㎡	15765.60㎡	18030.01㎡	18092.30㎡			
	公有地化面積	約26,000㎡	4255.7㎡	4779.47㎡	5861.89㎡			

評価	生涯学習課による評価(自己評価)
	このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。
	文化財保護委員会による意見等



午王山遺跡保存目的調査の様子



管理地の様子

分類2 活用

取組内容・状況

(1) 生涯学習の場での活用

国史跡午王山遺跡で実施している保存を目的とした発掘調査の現場を公開したほか、おとどけ講座等で午王山遺跡について周知した。
また、「国史跡指定記念午王山遺跡展」を開催し、記念講演会及び関連講座を実施した。
■展示会来場者数：のべ5,418人
■記念講演会参加者数：188人 ■関連講座参加者数：45人

(2) 学校教育の場との連携

令和5年度は具体的な動きを行うことはできなかった。
学校教育の場との連携の方法については引き続き検討する。

(3) 遺物の活用

午王山遺跡出土資料を中心に「国史跡指定記念午王山遺跡展」を開催し、100点を超える資料を展示した。

(4) 情報発信

・「午王山遺跡だより」の発行を開始した。発行回数：3回（令和5年6月5日、9月26日、1月5日）
・コミュニティラジオ「ナナコライブリーエフエム ワクワクわこうラジオ」等に出演し、午王山遺跡について周知を図った。

(5) 周辺文化財と連携した活用

令和5年度は団体が実施するフィールドワークの企画に講師を派遣して協力した。

参考数値

取組内容	実績値（単年度）				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
講座等の参加者数（人） ※午王山遺跡についての内容を含むもののみ	68	296			
「午王山遺跡だより」の発行号数（部）	3	3			

評価

生涯学習課による評価（自己評価）

このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。

文化財保護委員会による意見等



午王山遺跡発掘現場見学会の様子（令和6年1月10日）



「午王山遺跡だより」Vol.6

分類3 整備

取組内容・状況	（１）整備基本計画等の策定
	整備基本計画については未策定である。 引き続き整備基本計画の策定に向けて情報収集等を行う。
	（２）整備の方法
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。 暫定的な整備（案内看板の設置等）については、史跡の保護を前提に行っている。
	（３）自然環境・景観への配慮
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。
	（４）ガイダンス施設の設置
	ガイダンス施設の設置に向けて用地の確保等について調整する。
	（５）段階的な整備
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。 なお、整備までの間に公有地化した土地の境界際等に防草シートを設置した。
参考数値	（６）短期的な整備
	実施には至らなかった。
	（７）案内看板等の整備
	既設の案内看板の一部に日焼けによる劣化が生じていたため、案内面の張替えを実施した。
評価	（８）見学環境の整備
	公有地化した土地の一部について、試験的に防草人工芝等を敷設している。

参考数値	取組内容	実績値（累計）				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	案内看板等の設置数	3	3			

評価	生涯学習課による評価（自己評価）
	このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。
	文化財保護委員会による意見等



公有地境界への防草シートの設置

分類4 運営・体制の整備

取組内容・状況	(1) 保存・活用に関する管理体制
	新たに有識者による「午王山遺跡調査指導委員会」を設置し、午王山遺跡の保存目的調査等について指導・助言を得る体制を構築した。なお、調査指導委員会は3回開催した。
	(2) 国・県・市関連部局の連携
	「午王山遺跡調査指導委員会」にオブザーバーとして文化庁、埼玉県から参加いただいているほか、適宜連絡・相談を行った。
	(3) 様々な機関等との連携
	全国史跡整備市町村協議会に加盟し、情報収集等を行った。
	(4) 市民との連携・協働
	市民との連携・協働については今後の課題である。

参考数値	取組内容	実績値（単年度）				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	午王山遺跡調査指導委員会の開催	3	3			

評価	生涯学習課による評価（自己評価）
	このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。
	文化財保護委員会による意見等



調査指導委員会による現地指導・助言（令和5年12月19日）



調査指導委員会の様子（令和6年3月19日）

令和6年度事業計画 文化財保護事業

(生涯学習課文化財保護担当)

No.	事業名	内 容
1	確認調査(試掘)等	市内全域で申請者の依頼に基づいて実施。
2	本発掘調査	確認調査に基づき発掘が必要な地点について随時実施。
3	史跡午王山遺跡の保存・活用	『史跡午王山遺跡保存活用計画』に基づき、史跡の追加指定や有償譲渡による公有地化により史跡の適切な保護を図るほか、維持管理等を行う。 また、午王山遺跡の一部地点に対し保存を目的とした調査等を実施する。
4	埋蔵文化財調査報告書作成	市教育委員会が行った発掘調査の報告書を作成。 和光市埋蔵文化財調査報告書 第72集『埼玉県和光市市内遺跡発掘調査報告書28』
5	市指定文化財の指定について	【越後山遺跡出土種子圧痕土器】 令和6年4月18日定例教育委員会承認済み。 【越後山遺跡出土ヒスイ大珠】 令和6年4月18日定例教育委員会承認済み。
6	新倉ふるさと民家園 管理運営	新倉ふるさと民家園の管理運営について、古民家愛好会と市協働指針に基づく管理運営委託。
7	和光市デジタルミュージアム管理 運営	新資料等の更新・公開を随時行い、掲載内容の充実を図る。 『和光市デジタルミュージアム紀要』第10号を発行。
8	文化財パトロール	随時実施する。